



第31回東北作業療法学会 ニュースレター

共育 ～トモニマナビ、トモニソダツ～

***** 学会長挨拶 *****



大久保 訓 (おおくぼ さとる)
いわてリハビリテーションセンター所属

第31回東北作業療法学会 学会長を務めさせて頂く大久保訓と申します。東北学会は1990年にこの地岩手から始まり、東北6県で繋いだバトンは今回で6巡目に入ります。

本来であれば皆さまと緑豊かな盛岡でお会い出来るはずでしたが、コロナウィルス感染予防を第一に考えオンライン開催と致しました。

当学会のテーマは『共育 ～トモニマナビ、トモニソダツ～』としました。テーマ決定に至るまでに実行委員の仲間と何度も協議しました。その中では作業療法の過去から未来への変遷、対象者や多職種・地域社会からの期待、様々な意見が挙がりました。

最終的には専門職の基本となる「学び」に焦点をあてました。学ぶ面白さは、知って分かった時のストンと腑に落ちる感覚にあります。その面白さを経験すれば、もっと知りたいと知的探求心が加速します。そして学んだことは誰かと共有したいと思います。また、得られた知識や技術は、対象者に活かし役立てようと行動に繋がるはずで、この好循環は相互に響きあい、共に成長するものと考えテーマの骨格としました。

私たち作業療法士が対象者や地域社会の期待に応え続けるためには何をすればいいのか、トモニマナビ・トモニソダツためには今、何が必要なのか。これらの問いを当学会で再考したいと思います。

今回の東北学会では、基調講演や12のセミナー及び2つのシンポジウムにおきまして、医療保健福祉介護教育などで活躍する先生方からご講義を頂きます。一般演題は80題、多種多様な発表となっています。加えて新しい試みである未来図会議では、次世代を担う各県士会の有志と共に、今後の東北学会の在り方について語り合い、皆様と共有いたします。

結びに、コロナ禍での開催にあたり、ご助言ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。また、知恵と工夫を出し合い、1年以上に渡る準備に取り組んで来た実行委員の仲間から心から感謝致します。

東北の作業療法士が、日頃の実践や研究を、此の地『いわて』から発信し、熱く意見交換しあう学会になると確信しております。この学会が、トモニマナビ・トモニソダツ 共育となり、今後の作業療法の躍進に繋がりますように。そして、私たち作業療法士の更なる成長が、全ての人々の健康と幸福に寄与できることを祈念し、挨拶とさせていただきます。

それでは只今から、第31回東北作業療法学会を開催します！

開催期間:2021年7月1日(木)～25日(日)

学会形式:オンライン学会



第31回東北作業療法学会

検索

SNSでは最新情報を配信!! 是非ご覧ください (^-)/^-



一般社団法人
岩手県作業療法士会



東北作業療法学会